

そ

お

曾於 議会だより

2008.2

No.11

橋開通
平成19年12月13日

平成18年度決算を認定

2

平成19年度一般会計補正予算

4

正副議長就任あいさつ

5

新体制スタート

6

市政を問う 一般質問

8

委員会報告

14

すがむた
菅牟田橋渡り初め (大隅町)

決算認定!!

平成 18 年度一般会計歳出決算

197億9,305万2千円

10月11日の第1回臨時議会において、提出された一般会計・特別会計（5件）の決算は、各常任委員会に付託され、執行部より提出された資料に基づいて審査を行ない、11月2日臨時議会において全会一致及び賛成多数で全ての会計を認定致しました。

(賛成多数)

- ☆平成18年度曾於市一般会計歳入歳出決算の認定について
- ☆平成18年度曾於市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- ☆平成18年度曾於市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
- ☆平成18年度曾於市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- ☆平成18年度曾於市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

(全会一致)

- ☆平成18年度曾於市生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について

平成18年度曾於市一般会計歳入歳出決算

今回の決算は、曾於市として初年度となる年間を通じての決算であります。

歳入は205億2,876万1,493円で、主なものは地方交付税87億3,194万9千円、市税28億1,733万6,365円、国庫支出金19億9,622万6千円、県支出金18億2,954万8千円、諸収入2億4,961万4千円等であります。

歳出は、197億9,305万2,575円で

主なものは、市民サービスに使われる総務費25億3,331万5,546円、生きがいや健康のために使われる民生費51億3,562万2,223円、暮らしや安全のために使われる土木費20億1,702万19円、返済のための公債費34億5,243万7,634円等であります。

また歳入歳出差引額、7億3,570万8,918円は、財政調整基金積立へ6億5千万円、繰越明許費繰越額218万7千円、平成19年度へ8,352万1,918円繰り越すこととなりました。

一般会計（歳出額）

	歳出決算額	市民1人当たり費用(経費)	市民1人当たり市税負担
17年度	20,408,676,000	469,000	64,000
18年度	19,793,052,575	459,534	65,409
増減	▲615,623,425	▲9,466	1,409

※一人当たり市税額は、市税2,817,336,365円を、H19.3月末現在の住基人口で除した額

今後に生かせ!

総務委員会

◎自治会の未加入世帯対策や統合の推進を ◎財政計画に基づく財政の健全化を

文教厚生委員会

◎少子・高齢化対策の拡充を ◎教育環境のさらなる充実を

建設経済委員会

◎目標数値を持って有休農地の解消を ◎肉用牛経営安定化の推進を

国民健康保険会計（歳出額）

	歳出決算額	1人当り費用	1人当り税負担
17年度	4,990,526,181	229,682	60,949
18年度	5,456,437,045	253,210	60,697
増減	465,910,864	23,528	▲252

※一人当り税額は、国民健康保険税1,307,966,166円を、一般被保険者18,741人で除した額

歳入総額は、58億2,080万5,617円、歳出総額は54億5,643万7,045円で、歳入歳出差引額は、3億6,436万8,572円の実質収支になりました。

平成18年度曾於市国民健康保険特別会計歳入歳出決算

老人保健会計（歳出額）

	歳出決算額	1人当り費用
17年度	6,917,157,833	807,325
18年度	6,637,431,693	795,664
増減	▲279,726,140	▲11,661

歳入総額は、67億5,500万8,228円、歳出総額は66億3,743万1,693円で、歳入歳出差引額は、8,077万6,535円は、平成19年度へ繰り越すことになりました。

平成18年度曾於市老人保健特別会計歳入歳出決算

介護保険会計（歳出額）

	歳出決算額	1人当り費用	1人当り税負担
17年度	3,694,490,163	261,835	38,736
18年度	3,731,148,777	262,517	41,012
増減	36,658,614	682	2,276

※一人当り税額は、582,900,200円を、第1号被保険者数14,213人で除した額

歳入総額は、40億3,810万1,707円、歳出総額は37億3,114万8,777円で、歳入歳出差引額は、3億6,952,930円、繰越明許費額の97万7千円を差し引き、実質収支は3億5,97万5,930円になります。

平成18年度曾於市介護保険特別会計歳入歳出決算

一般会計補正予算

5,465万2千円などを可決

条例関係

☆曾於市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について賛成多数で可決

65歳以上の被保険者から介護保険料と同じように年金の収入から国保税を特別徴収（天引き）するものである。年金暮らしのお年寄りの生活を圧迫するとの反対の意見もありました。

☆曾於市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について賛成多数で可決

70歳以上74歳までのお年寄りの国民健康保険の自己負担が、現在の1割が2割になるものである。あまりにも負担が大きい。全体で1億5千万円の負担増となるとの反対の意見もありました。



大隅学校給食センター

予算関係

☆平成19年度曾於市一般会計補正予算（第6号）賛成多数で可決

今回の補正予算は、5,465万2千円を追加し、予算総額193億96万8千円となりました。

歳入の主なものは、大隅中学校スクールバス運行に伴う、へき地児童生徒援助費補助金601万3千円、活動火山周辺地域防災営農対策事業補助金1,366万5千円、県町村会からの公益推進事業特別会計配分金656万3千円、高金利の財政融資資金に係る補助金免除繰上償還に伴う借換債（注1）3,140万円などでありま

す。

歳出の主なものは、障害者訓練等給付費542万5千円、活動火山周辺地域防災営農対策事業1,366万5千円、中山間地域総合整備事業負

担金736万5千円、繰上償還金に伴う公債費元金928万8千円等であり

ます。

債務負担行為補正

（注2）は、学校給食調理業務委託事業費の平成20年度に

9,160万円の提案である。

大隅・財部の給食センターで働く職員に対して、労働条件、身分保障などを含めて話し合いがされておらず、基本的に白紙に戻すべきであるとの理由で、反対意見もありました。



園芸ハウス

千円となりました。歳入の主なものは、財政調整基金繰入金、歳出の主なものは、人事院勧告に伴う職員給与・扶養手当の改定に伴うものであります。

注1・借換債

高金利の償還を低金利のものに切り替えること。

注2・債務負担行為

事業の予算などを議会にはかることによって、将来の財政支出を約束する行為。

☆平成19年度曾於市一般会計補正予算（第7号）全会一致で可決

661万3千円を追加し、193億758万1

正副議長 就任あいさつ



郷土の限りない発展を目指して

議長 坂口 幸夫

日頃より、私どもの市議会運営に、皆様の絶大なご協力を頂き、心から感謝申し上げます。

昨年12月から現議員での後期体制をスタートさせ、議員の皆様のご推挙を頂き、議長のお職に再任を仰せつかりました。

議会の円滑な運営と本市の発展のために誠心誠意努力してまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

私ども議員は、曾於市発展はもとより、市民福祉の向上を目的に適正な予算執行がなされているか、議会の使命である本

市の具体的政策の最終決定と市民の立場に立った監視について、真剣に取り組んでおります。

平成19年度一般会計当初予算は、188億4千万円ありますが、それぞれ分野における予算の執行については、市民にとって最大の果実となるよう期待するものであります。特に、本市の基幹産業は農業であります。厳しい国際競争や産地間競争に対応できる体質強化や、後継者育成、就農者の高齢化に伴う助成策等を更に充実していかなければならない

と強く思うところであります。また、教育の更なる振興を図る観点から、施設整備の充実も図って行かなければならないと思っております。そのようなか、市内の児童・生徒が各種スポーツ大会等で素晴らしい成績を収めており、誠に頼もしく夢

広がる思いであります。本市は自主財源に乏しく、厳しい財政運営は続きますが、市民のニーズに応え、少しでも本市活性化の要因となる事業展開を検討していく所存であります。

時代に即応した行財

政運営が行われるためには、住民に最も身近な存在である私ども議会が十分機能を発揮し、与えられた使命を果たすことが議会としての責務であります。今後とも、皆様の負託に応えられるよう努力することをお約束いたします。

最後に、市民の皆様のご多幸とわが郷土曾於市の限りない発展をご祈念申し上げます。

誠にありがとうございました。

あります。



副議長 海野 隆平

平成19年12月6日の本会議において、正副議長及び各常任委員会、並びに各常任委員長の選任が行われ、議員各位のあた

たかのご推挙により、副議長のお職に就任させて頂くことになりました。

身に余る光栄であり、もとより浅学非才ではありますが、責任の重さを痛感致しております。

曾於市も合併し2年有余が過ぎようとしております。旧3カ町の交流の深まる中で、徐々にではあります。市民間の融和と連携が図られつつあり、躍動する曾於のいぶ

きを感じております。

議会運営につきまして、議会運営委員会の意見を尊重しながら、公正無私を旨とし言論の府として、曾於市議会が円滑

に運営されるよう努力する所存です。

私ども議員は、日々市民の皆様が目線に立ち、市民の声を真摯に受け止めながら付託に答えてまいります。執行部に対しましては、一定の距離を保ちながら、チェック機能としての機能を十分に発揮してまいれる所存です。

市民の皆様のお意を伺い、ご要望をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

～議会構成がかわりました～

議長 坂口 幸夫

副議長 海野 隆平

営委員会 (7名)

各委員長と委員 3名)

吉村 幸治
瀬戸口 三郎
山田 義盛
橋元 孝一
渡辺 利治
海野 隆平
大津 亮二



文教厚生常任委員会 (9名)

【担当する課】

市民課・保健福祉課
福祉事務所・教育委員会等

委員長	山田 義盛	副委員長	大川内富男
委員	山下 諭	委員	瀬戸口三郎
委員	海野 隆平	委員	漆間 純明
委員	大津 亮二	委員	五位塚 剛
委員	桂 次雄		



建設経済常任委員会 (8名)

【担当する課】

経済課・畜産課・耕地課・産業振興課
建設課・水道課・建設水道課・農業委員会等

委員長	橋元 孝一	副委員長	西川 熊則
委員	大川原主税	委員	吉村 幸治
委員	松田 司	委員	迫 杉雄
委員	山下 千平	委員	山下 千弘



新体制スタート

議会広報等調査特別委員会

委員長 大川原 主 税
副委員長 原 田 賢一郎
委員 大川内 富 男
委員 吉 村 幸 治
委員 大休寺 守 剛
委員 五位塚



議会選出監査委員

山下 諭 議員

議長の指名推薦により議会で決定 大隅曾於地区消防組合議会議員

坂口 幸 夫 議員
吉 村 幸 治 議員
瀬戸口 三 郎 議員

曾於地域公設地方卸売市場管理組合議会議員

橋 元 孝 一 議員
西 川 熊 則 議員

曾於地区介護保険組合議会議員

山 田 義 盛 議員
大川内 富 男 議員

曾於北部衛生処理組合議会議員

海 野 隆 平 議員
大休寺 守 議員
漆 間 純 明 議員

任期は
平成19年12月6日
から
平成21年11月30日

議会運

(副議長・)

委員長
副委員長
委員
委員
委員
委員
委員

総務常任委員会(9名)

【担当する課】

総務課・地域振興課・企画課
財政課・税務課・議会事務局等

委員長 渡辺 利治 副委員長 大休寺 守
委員 八木 秋博 委員 土屋 健一
委員 原田賢一郎 委員 久長登良男
委員 平澤津孝志 委員 徳峰 一成
委員 坂口 幸夫



政を問う



徳峰 一成 議員

敬老祝い金の全員支給を

市長／当分節目支給でいきたい

徳峰一成議員

これまで8千名近い署名が寄せられている。この民意をどう受けとめるか。

池田市長 署名の中には一人で家族の名前を書かれた方が見られる。署名をされた方は、この間の経緯を認識しておられるか。



署名簿の提出

か微妙である。

問 署名をされた方に対して失礼な言い方であり、蔑視した答弁ではないか。市長は多くの署名を真正面から受け止めていない情けない答弁である。特に旧大隅町では通常の署名とは別に全世帯の1割近い400数十通の郵送による署名が寄せられている。こうした大きな民意をどう受けとめるか。

市長 今まで答えてきたことを私は相手に伝えて

いきたい。

問 敬老祝金について民意を正確につかむ意味で、市はアンケートをとるべきではないか。

市長 今のところ、その気持ちは持っていない。民意

を正しくとらえ市制の舵取りを行うのは、民主主義の根本ではないか。今後も取り上げていきたい。

市政刷新と改革について

問 市内全域を回り市民と対話すると、合併に対する失望感や不満が強い。

その理由の1つは合併直後に市長や議員の報酬等上げた点、2つ目は職員の削減で、当初の計画以上に大隅・財部支所の職員を減らしている点、3つ目は市長など四役の4年ごと支給の高すぎる退職金の問題があるのではないかと。退職金制度が改革されるまで、市長はそれに見合った報酬に引き下げるべきではないか。

市長 四役・議員の報酬については5%下げている。市民に理解をもらっている。職員の削減は、

合併後から現在までの勧奨による退職者が多かったため大きな削減となった。市長の報酬引き下げについては、検討させて頂きたい。

問 末吉

支所は当初の計画より職員は増えたが、特に大隅支所は当初の計画以上に減らされている。分析的考察が必要ではないか。合併後、末吉への一極集中が見られる中で、少子高齢化が進む地域の活性化対策は非常に重要ではないか。例えば旧大隅町は道路事情が厳しい。県道の市道への変更や横断道路の整備について、地域住民の意見を充分聞きながら、今後市長や議会が交代しても変わらない



県道志柄・宮ヶ迫・福山線（大隅町川路山付近）

い20年、30年後を視野に入れた太い方針を打ち出すべきではないか。

市長 市民からはいろんな要望が多い。これは財源上難しい。

意見 ただ今の市長答弁を聞いたら、地域住民は失望するのではないかと。私は道路整備について、長期的な太い方針を持つべきではないかと提案している。今後も取り上げていきたい。

地域を生かしたまちづくりを進めるには

市長／思いやりの心あふれる曾於市
宣言に沿ったまちづくり



迫 杉 雄 議員

一般質問 6 議員登壇



迫杉雄議員 廃校となつた月野中、恒吉中、大隅北中の現況と今後の管理について。

池田市長 廃校と同時に学校施設から普通財産取り扱いとなっている。今後、施設転用等、国の補助金適正化法との関係があるため、県市長会、県選出国會議員などを通じ、学校施設の規制緩和についての要望中であり、当分の間、現況のまま管理したい。

問 体験型農業施設整備事業（中学校跡地活用事



鶴木のグラウンドゴルフ場

業）についてはどう対応されるのか。

市長 恒吉中跡地については、都市部との交流を図り、地域の活性化及び体験型農業施設整備事業（グリーンツーリズム）を取り入れる要望があり計画は立てたが、国の採択基準が以前と変わり、認可が非常に厳しい状況にある。

問 新農村振興運動事業に対して、どのように取り組まれるか。

市長 これまで認定農業者の認定や伝統芸能の保存、継承、都市と農村の交流など様々な成果が現れており、現在「共生・協働のむらづくり支援事業」に取り組んでいる。鶴木むらづくり委員会では、集落の機能回復を図

るため「やすらぎの里」づくりをテーマとして取り組み、子どもたちへの新たな教育の場や都市住民との交流の場として「鶴木の池」を整備する計画である。

他にも先進地の事例や調査、外部のアドバイザーの活用も含め検討し、この地区の活動をモデルとして市内に普及を図りたい。

文化財に対する取り組みについて

問 本市の有形、無形民俗文化財の管理、整備並びに継承についての現況と今後の対応は。

植村教育長 現在、県指定文化財が5件、曾於市の指定文化財が81件に加え、今年の8月には国の有形文化財として農協財部支所に所在する石蔵倉庫が登録を受けている。特に無形民俗文化財は民俗芸能が中心となっているが、それについては

補助金を交付し活動を支援している。

問 恒吉城（日輪城）跡保存並びに周辺整備はどうであるか。

教育長 規模や遺構の残存状況の良さは、考古学の大学専門家から高い評価を受けている。特に今年度は県や大学の先生方で構成する調査検討会を12月26日・27日に開催予定である。

問 弥五郎どんを始め、他の文化財を国指定重要無形文化財や県指定文化財となるよう努力すべきではないか。

教育長 恒吉城は国指定を目指し、まず、市の指定に向け、弥五郎どんは国指定に向けて、調査委員会などを設置し日南市や都城市山之口町とも連携し強力に進める。



恒吉城跡

大型店出店の広域調整は

市長／県の動向等を見て判断したい



海野 隆平 議員

海野隆平議員 11月に

施行される改正都市計画法に合わせ、大型店の規制について市独自のガイドラインの設置の考えはないか。
池田市長 改正法に基づき都道府県が関係市町村の意見を聞いて、大型店出店の可否を判断する「広域調整」については、鹿児島県、宮崎県など19都県で、今後の状況を見て検討することになっている。なお、県の動向等を視野に入れながら、市として判断していきたい。



郊外に広がる大型店

置の方向で検討していきたい。
限界集落の現状と集落再生について

問 曾於市となり常に大型店出店の脅威にさらされておられ、市内において現に郊外に大型店増床の話がある。調整項目や調整期間等市独自の判断基準を設け、対応すべきと思うが答弁を求めます。

市長 商工会や消費者団体の意見を充分聞き、設

問 高齢化率の高い曾於市においては、限界集落に匹敵する、またはそれに近い集落の実態について何集落あるのか各町ごとに聞きたい。

市長 65歳以上の人口率が50%以上で高齢化が進み、共同体の機能維持が限界に達している状態の集落をあげると、末吉地区30自治会、大隅地区39自治会、財部地区26自治会、合計95自治会となり、491自治会のうち、19・3%を占めている。5年先

10年先の集落の実態について、どのように把握しているか。

市長 55歳以上の人口が50%以上あるもので、現在共同体機能は維持しているが、跡継ぎの確保が難しくなっている集落を、限界集落予備軍とすると、末吉地区89自治会、大隅地区62自治会、財部地区54自治会、合計205自治会となり、41・8%の自治会が予備軍として存在している。10年後には限界集落となる可能性が大きい。

問 集落人口の維持と集落の形成については、行政の大きな課題と考えるが、どのような見解を持っているか。

市長 合併時44,086人いた人口が、11月末まで42,898人と1,188人、2・7%の減となっており、平成27年には39,041人と現在による3,857人減る。人口増による維持は難しく、統合することも検討しなければならない自治



県道光神山・諏訪方線

県道光神山・諏訪方線の工事の見通しについて

会も増えてくる。

地13筆の買収と7件の補償し、19年度までに8,900万円投資している。今後土地買収9筆、建物補償4件で1億1千万円が計画され、1工区工事までに2〜3年かかる」と説明を受けている。

問 県は地域住民に対し、きちんと説明すべきではないか。

市長 平成17年に地権者への説明会を開催して以来、2年間地元への説明をしていない。来年1月までに地域住民に対して説明会を開きたい。

問 県道光神山・諏訪方線のうち、湯之尻・中原間の工事着工と今後の見通しは。

市長 県は中原側延長380mを1工区、湯之尻側延長270mを2工区と区間を分け、まず1工区完成に努力している。平成17年度から用地買収に着手、土

人口増加対策を強化せよ

市長／少子化対策に力を入れる



五位塚 剛 議員

五位塚剛議員 曾於市合併時の人口44,086人であったが2年半で1,188人減少している。人口を増やす対策として今後何を考えているか。

池田市長 企業誘致・地場産業の育成、公営住宅

の整備、宅地分譲、福祉の充実など少子化対策に力を入れていきたい。

問 少子化対策として妊婦検診など公費負担で行うべきではないか。

市長 人口減を食い止めるために取り組みは検討したい。

問 子育て支援係を本庁に設置して、市民の要望に応えるべきではないか。

市長 大隅に子育て支援センターがあり、末吉、財部については現状の

出前方式でやっていき

畜産振興について

問 畜産農家の配合飼料

が大幅に値上げになっており、養豚農家、和牛の肥育農家も含めて危機的状況になっている。JA

とも協力してトウモロコシの種子の補助、サイレージ作りに支援すべきではないか。

市長 原油高を背景として、バイオ燃料の生産増加などで



大隅子育て支援センター

問 養豚農家、肥育農家

協力を要請していく。

市民農園の実施を

問 市民の中で農地を持たない方が、家庭菜園のための一坪農園を希望する人も多い。農業委員会

など経営が大変である。経営安定のための資金を借りた場合の利子補給を考

えるべきではないか。
市長 簡易牛舎建設導入補助事業は引き続き行うが、今回の利子補給は考えていない。

企業誘致をどう進めるか

問 企業誘致は大変難しい問題であるが、現状と今後の取り組みはどうなっているか。

市長 企業誘致の現状は、県事務所を通じ、企業訪問や企業懇話会に参加している。平成17年7月以降新設1社、増設3社と立地協定を結んでいる。引き続き努力する。



収穫が楽しみな一坪農園

とも相談して実現すべきではないか。

市長 市民農園を開設する場合、市民農園促進法で開設することになり、今後希望者を調査していく。

県道光神山諏訪方線の湯之尻から中原までの拡幅工事について

問 湯之尻から中原まで

の工事はいつ完成するか。
市長 中原側の1工区380mは完成まで4〜5年、平成24年と思われる。2工区湯之尻側270mは、早期完成に向けて要望していく。中原地区の工事着手は早くて3年後の平成23年と考

行政改革の現状は

市長／計画と現状に差異が生じている



大津 亮二 議員

大津亮二議員 行政改革の進捗状況と、取り組みの中で教訓点・反省点はなかったか。

池田市長 行政改革大綱を基調に、ほぼ計画に沿って推進してきた。教訓として合併と時を同じくして計画を策定したので、計画と現状に差異が生じているのも事実である。

平成20年度には各部署の現状の把握と見直しを行い、住民サービスの低下のないようにしていきたい。

問 支所での耕地課・経

済課・畜産課が産業振興課となったが問題点はなかったか。

中山副市長 名称が違うため、どこに相談に行けばいいのか戸惑った面もあったが、地域イベント等では人員を要請しや

すく、将来グループ制度を考える面からも良かった。

問 平成20年度の行政改革の計画を挙げられたい。

市長 組織再編の基本的な考え方に、単独補佐は必要な部署だけ残し原則廃止、施設等の運営管理は出来るだけ民間委託や指定管理者制度を導入。再編の主なもの、入札・契約事務を担当する系の創設、大隅支所の三



農業委員会総会

連絡所を当面行政OBに委託、大隅・財部の給食センターの人事管理を民間委託。農業委員会の会議方式を「部会方式」から「総会方式」に切り替える等を行いたい。

問 平成20年度計画の市民課と保健福祉課の統合は、組織が大きすぎないか。

市長 重要度を増す福祉行政などを考慮し、両課の統合については、現状のまま据え置きたい。

問 農業委員会の経済課への事務移管はどうなったか。

副市長 農業委員会からの申し入れにより、平成20年度は行わない考えでいる。

問 平成21年度以降の機構改革の課題は何か。

市長 早期退職者や定年減少が急速に進んでいる現状で、一層の組織再編を図らなければならないと考えている。さらに施設運営等の民間委託化、グループ制の導入等、事



市民課の窓口

務事業の見直しの必要性を感じている。一方、厳しい財政状況に対処するため、職員研修を実施し、職員一丸となり行政改革に取り組んで行きたい。
問 行政改革を急ぎすぎで、市民サービスに支障がないようにされたい。
次に財政計画の中で特に配慮されてきた課題・問題点は何か。
市長 計画にのって取り組んでいるが、依然として厳しい財政状況の中

悠久の森ウォーキングを終えて

市長／約2,020名の参加



大川原 主税 議員

大川原主税議員 参加者は何名であったか。市内、市外の参加状況、J・R利用人数はどうだったか。
池田市長 当日受付された参加者は、市内625名、県内534名、県外321名の1,480名、受付されなかった参



悠久の森ウォーキング

加者約310名、関係者230名で、合計約2,020名である。
J・Rの特急も上下線2便が大川原駅に臨時停車し、142名が乗降している。
問 経費の内容はどうなっているか。
市長 主な経費の内訳は、イベント等の出演者に対する謝礼、消耗品や賄い材料費、広告料で合

計166万8千円となっている。
問 ボランティアを中心とした、地域の係わりがもっと必要だと思うが、今後どう対応されるか。
市長 現在、行政主導型であるが、今後積極的な地域の方々の参画が必要だと思っている。
問 悠久の森の充実、面積の拡大をしていく考えはないか。

県警の統合・再編は

市長 都市の人々との交流体験の拡大を始め、今後調査をしていきたいと思っている。
問 大川原駅のトイレも古く、手狭になっている。改修すべきではないか。
市長 改修する必要があるという認識であり、前向きに進めていきたい。
問 県道2号線の交通事故故は多いが、ここ1年間の発生件数は何件か。自損事故も多いようだが、件数的にはどれくらいあるか。
市長 今年に入ってから現在までの交通事故は、曾於警察署の事故報告では12件となっている。そのうち自損事故は6件である。
問 お茶農家の防霜ファンやケーブルが盗られると聞くが、件数と被害額はいくらか。
市長 曾於警察署によると、1月から11月までの

間に、防霜ファン等16件、被害額440万円となっている。
問 市内にある駐在所が廃止されると聞くが、地域の安心・安全を確保するためにぜひ存続すべきと思うが、市長の見解は。
市長 11月26日、曾於警察署長より話を伺っている。具体的には末吉幹部派出所を交番化へ見直しをすること、駐在所の一部の所管区域を変更することが主なものである。県は今後12月中に計画案のパブリックコメントを実施するというのであり、住民の声というのが届けば、何とか考えられるのかと思う。全く何もなければ、住民は異議なしとして、3月の議会もすんなりいくのではないかと考えられる。具体的にどうすればいいのか今後検討していきたい。



存続が望まれる大川原駐在所

会報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会
- 議会広報等調査特別委員会

月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。
は、先進地研修を実施しました。

総務常任委員会（渡辺利治委員長）
曾於市一般会計補正予算などについて委員会を開き、慎重に審査した結果、議案3件を全会一致で可決、議案1件を賛成多数で可決すべきものと決定しました。

曾於市議会議員等の報酬・費用弁償及び期末手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

法改正に伴い選挙に関するものだけの日額報酬を改正するものである。

曾於市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

従来からの普通徴収に老齢等基礎年金給付の支払を受けている65歳以上の被保険者である世帯主から、特別徴収ができるものとするものである。65歳から74歳までの対象者は、2,082世帯で年金額18万円以下が32世帯ある。実際は重複受給者もいる。

曾於市大隅弥五郎伝説の里の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

「使用料」を「利用料」へ改めるもので、指定管理者へ委託された時に利用料となる。指定管理者は常に営業努力を怠らないよう、また使いやすいようにすべきである。この施設は地域総合整備事業債のみで、22億2,530万円、平成20年度で完了である。

平成19年度一般会計予算の補正について（所管分）

問 消防設備整備事業費は、地上式消火栓を地下式にするものであるが、修理ではすまないか。
答 旧式消火栓は副栓がなく、地下式に移行した方が良い。
問 市内の消火栓数は。
答 末吉244、大隅73、財部139、合計456基である。
問 定住促進対策事業の不動産鑑定委託料はどのようなものか。
答 財部地区の分譲地



弥五郎伝説の里の弥五郎どん銅像

に關し、現在14カ所挙げているが、最終的には3カ所を鑑定するものである。
問 分譲地の規模はどれくらいか。
答 2ヘクタールに40区画の計画である。
委員の意見より、売れやすい場所、住みやすい場所を念頭に事業を進めべきとあった。
問 統計調査費で、今後あるものは。
答 工業統計調査は12月31日現在分を調査する予定である。
問 公債費償還元金の借

換債は平成19年度何件で内訳は。
答 公営住宅建設事業が財部2件、末吉1件、利率7・1%、平成20年度2件、平成21年度1件で償還するものである。学校教育施設等整備事業は、財部小・末吉小・諏訪小それぞれ1件で、利率は共に7・1%となっている。以上の6件の借換債をする。
問 繰上償還の通知の仕組みはどうなっているのか。
答 総務省自治財政局から県知事へ通知され、県知事から市町村長宛に通知される。
問 起債件数はいくらか。
答 平成19年度末で846件の起債があり、39件が繰上償還対象である。

委員

各常任委員会では、12
議会広報等調査特別委員会

文教厚生常任委員会（山田義盛委員長）

曾於市一般会計補正予算などについて委員会を開き、慎重に審査した結果、議案4件を全会一致で可決、議案2件を賛成多数で可決すべきものと決定しました。



財部温泉と交流ターミナル

国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

健康保険法等の一部を改正する法律が、平成20年4月1日に施行されることに伴い、国民健康保険の自己負担の割合を、義務教育就学（小学校入学）前については2割とし、就学後から69歳までについては3割とし、70歳以上74歳までは2割とするため、条例の一部を改正するものである。

問 国の制度改正により高齢者の負担が増える。軽減措置や減免制度等も同時に考えるべきだと思うが。

答 高齢者負担増凍結の話もあるため、減免制度

問 財部温泉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

財部温泉センターの使用料を利用料に改め、指定管理者の収入として運営させるため、条例の一部を改正するものである。

問 この条例の適用範囲は雑人も含むのか。

答 入浴料、テナント料及び雑入の全てを指定管理者へ収入とさせたい。なお、雑入を含めるのなら条例で明記すべきであるとの意見が出され、今後検討したいとの答弁があった。

については同時並行して出さなかった。

問 3歳から6歳までの自己負担額を3割から2割にするこの引下げ額はどのぐらいか。

答 曾於市全体で負担減は約303万円である。

財部総合交流ターミナルの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

前項の温泉センターと同じ条例改正であり、来年の4月1日から夏期の施設利用時間が、午後9時から午後10時まで延長される。

平成19年度曾於市一般会計予算の補正について（所管分）

一般会計予算補正の歳出の主なものは次のとおりである。

- ① 社会福祉費1,386万円の追加は、グループホーム利用に伴う障害者訓練等の追加等。
- ② 児童福祉費は、ひまわりクラブ（末吉学園）の交流の場や療育器具を整備するための療育等援助事業300万円の追加。
- ③ そのほか教育費として436万3千円の追加。
- ④ 学校給食調理業務委託事業9,160万円の債務負担行為の補正が出されている。

問 学校給食を直営方式から民間委託をすることにより、より良い給食事業が進められるのか、保護者など心配しているのではないか、運営委員会等の意見も聞いておく必要があるのではないか。

答 議会の議決後、運営委員会やPTA等と話し合いを深め対処したい。

意見 職員の身分等についても意見をよく聞き問題の起こらないように、また今後の学校給食サービスが現状より低下しないよう慎重に事業を進めるようにされたい。

平成19年度曾於市国民健康保険特別会計の補正について（第3号）

問 来年度の後期高齢者医療制度導入により、はり灸、あん摩の補助はどうなるのか。

答 一般会計で実施すると約1,

600万円の予算が必要となるが、現段階では検討中である。

平成19年度曾於市介護保険特別会計予算の補正について（第2号）

問 介護予防サービスについて、市民への広報はどのような方法で行なっているのか。

答 基本検診などを通じて周知するようにしている。また、介護保険証の交付時にパンフ等により広報を行なっている。

学校給食の流れ

献立の作成 → 食材の発注 → 食材の検品 → 調理の指示 → 調理作業 → 調理の検査 → 検食 → 配缶・運搬 → 給食時間・給食指導 → 洗浄・消毒・保管

この業務を委託します

建設経済常任委員会（橋元孝一委員長）

曾於市ゆず搾汁センターの設置及び管理に関する条例の制定、曾於市一般会計補正予算などについて委員会を開き、慎重に審査した結果、議案5件を全会一致で可決すべきものと決定しました。

曾於市ゆず搾汁センターの設置及び管理に関する条例の制定について

問 試験操業の結果は。

答 10月1日から12月5日まで643t搾汁し、前設備に対して操業能力は倍になっている。

要請 今後はゆずの栽培を推進し、増産に努力され、また衛生管理には十分に配慮し、消費者が安心して求められる製品作りに努められたい。

曾於市道路線の認定について

問 現段階では大型車の通行量が多い。路面の改修はどうなっているか。

答 県から譲渡する時には、路面等の悪いところは改修舗装して譲渡する

ことに協議、合意がされている。

要請 本路線は、市民の生活道路、また産業道路でもあり、しっかりと路面等を改修された道路を譲り受けるようにされたい。

平成19年度曾於市一般会計予算の補正について（所管分）

問 農業者年金加入について

答 加入については曾於市で134人である。

問 今後の加入推進は。

答 3人体制で戸別訪問して、年金の仕組みを説明し、加入推進に努める。

問 現在、新規就農者として支援している人数は。

答 平成19年11月現在、

曾於市全体で51人である。

要請 今後は農業をやる気のある人への就農推進に取り組みたい。

問 県の事業の実施取消は。

答 取消については、事業主体からの中止である。

要請 今後は申請の段階で説明をしっかりと、事業に取り組みたい。

平成19年度曾於市公共下水道事業特別会計予算の補正について（第2号）

問 借入金について

答 市内金融機関から予定している。

平成19年度曾於市水道事業特別会計予算の補正について（第2号）

問 借り換えし、繰上償還するメリットは。

答 公営企業経営健全化計画を作成して、その内容が当該地方公共団体の



ゆず搾汁センター

行政改革に相当程度資すると認められた場合のみであり、また合併した市町村のみが対応される制度である。

メリットについては、年利7%以上のもの13件の借入利率が安くなる予定である。

議会広報等調査特別委員会先進地研修報告

（調査地）
佐賀県嬉野市・福岡県福津市

（調査事項）
議会広報等に関する調査
議会広報紙の編集・発

行について

（日程）
平成19年11月7日～8日

（内容）

嬉野市
嬉野市は、人口29,776人、面積126.51km²、平成18年1月1日藤津郡塩田町・嬉野町が合併した、観光・農業・窯業の盛んな市である。

委員会名は議会広報編集等委員会、広報紙の名称は「うれしの議会だより」、発行回数は年4回、委員は6名のうち写真担当2名、任期は2年。30日以内の発行を目指しておられた。

福津市
福津市は、人口55,167人、面積52.71km²、平成17年1月24日宗像郡福岡町・津屋崎町が合併してできた市である。

委員会名は議会広報調査特別委員会、広報紙の名称は「議会だよりふくつ」、構成は各

常任委員会2名ずつの6名で、任期は2年、発行回数は年4回。議会閉会の翌々の1日に発行という流れであった。

両市ともに旧時代の優れた実績をもっておられるだけに、合併し市になっても委員による手作りの市議会だよりとして、主体的な取り組みが展開されていた。

市民の知る権利、議会の知らせる義務を踏まえ、読者の目線でありのままにわかりやすい紙面にするために、思い切った余白の活用など大変参考になった。



佐賀県嬉野市で先進地研修

賛成多数で可決された意見書を各関係大臣に提出

☆道路整備の促進及び道路財源の確保等に関する意見書

本市は、都市を支える我が国有数の食糧供給基地として肉用牛等の畜産をはじめ、畑作野菜の生産に励んでいるところであります。

今後、更なる発展を遂げるため、飼料や生産資材等の運搬道路となる地域内道路や、消費地である都市部への農産物輸送路となる広域幹線道路整備が遅れており、道路網の整備は喫緊の事態となっております。

政府におかれましては、地方部の道路整備の実情及び重要性を深く認識して頂き、下記の措置を講じられますよう強く要望します。

記

1. 道路整備を円滑に進めるための財源である揮発油税や自動車重量税等を他に転用することなく、道路整備に充てる道路財源として確保すること。
2. 国土の均衡ある発展及び活力ある地域づくりと豊かな暮らしづくりを支援するため、高規格幹線道路から市町村に至る道路網の整備を一層推進すること。
3. 豊かな市民生活の実現と地域の均衡ある発展を図るため、整備が遅れている当市の国道・県道・市道等の道路網の整備を一層推進すること。

※意見書の内容の一部を掲載しております。

次の定例議会は**3月**です！議会を傍聴しませんか？

定例会は、**3月、6月、9月、12月**です。ぜひ、議会を傍聴ください。

議会を傍聴されたい方は、議会事務局までお問い合わせ下さい。

電話 0986-76-8816

議会の動き

10月1日・2日	議会運営委員会所掌事務調査(長崎県雲仙市・諫早市)
4日	議会運営委員会・建設経済常任委員会
10日	佐賀県神埼市議会行政視察
11日	第1回臨時会(初日)・全員協議会
16日	第1回臨時会
21日・22日	関東弥五郎会創立20周年記念総会(東京都)
23日・24日	都城志布志道路建設促進提言活動(東京都)
25日	議会運営委員会
26日	都城志布志道路建設促進提言活動(福岡県)
29日～31日	県市議会議長会政務調査(秋田県秋田市・宮城県仙台市)
31日	県戦没者追悼式(鹿児島市)
11月2日	第2回臨時会・全員協議会
7日・8日	議会広報等調査特別委員会先進地研修(佐賀県嬉野市・福岡県福津市)
8日	県市議会議長会臨時総会及び国会議員との懇談会(東京都)
9日	環霧島会議(霧島市)・鹿児島弥五郎会(鹿児島市)
14日	千葉県柏市議会行政視察
15日	都城志布志道路建設促進提言活動(宮崎県)
19日	議会運営委員会
22日	県後期高齢者医療広域連合議会に係る議員研修会(鹿児島市)
26日	建設経済常任委員会・全員協議会
12月1日	曾於地域植樹祭(志布志市)
2日	県後期高齢者医療広域連合議会定例会(鹿児島市)
3日	議会運営委員会
6日	第4回定例会(初日)
10日	議会運営委員会・全員協議会
10日～12日	第4回定例会
13日・14日	各委員会
16日	東九州自動車道「志布志IC～鹿屋串良IC間」起工式(志布志市)
21日	第4回定例会(最終日)



佐賀県神埼市議会の皆様



千葉県柏市議会の皆様



昨年を振り返ると児童生徒のスポーツ大会等での活躍する姿が非常に目立ったのではないかと思う。

子どもたちのスポーツに打ち込む環境、施設の充実もさることながら、熱心で協力的な保護者、指導者の力によって、子どもたちも能力が発揮されるものと思う。

今年北京オリンピックの年でもあり、国をあげて盛り上がり期待される。

曾於市の子どもたちはもとより、スポーツを通して

編集後記

じて地域の連携、健康に対する意識がさらに高まることを期待したい。今年も議会だよりをよろしく願います。

(大川原)

議会広報等調査特別委員会

- 委員長 大川原主税
- 副委員長 原田賢一郎
- 委員 大川内富男
- 委員 吉村幸治
- 委員 大休寺守
- 委員 五位塚剛
- 発行責任者 議長 坂口幸夫

議会だよりは
私たちが作ります！
議会広報等調査特別委員会委員
がかわりました。